

## 【審議】事後評価

# 一般国道45号 仙塩道路(仙台港北ICせんだいこうきた～利府中ICりふなか)

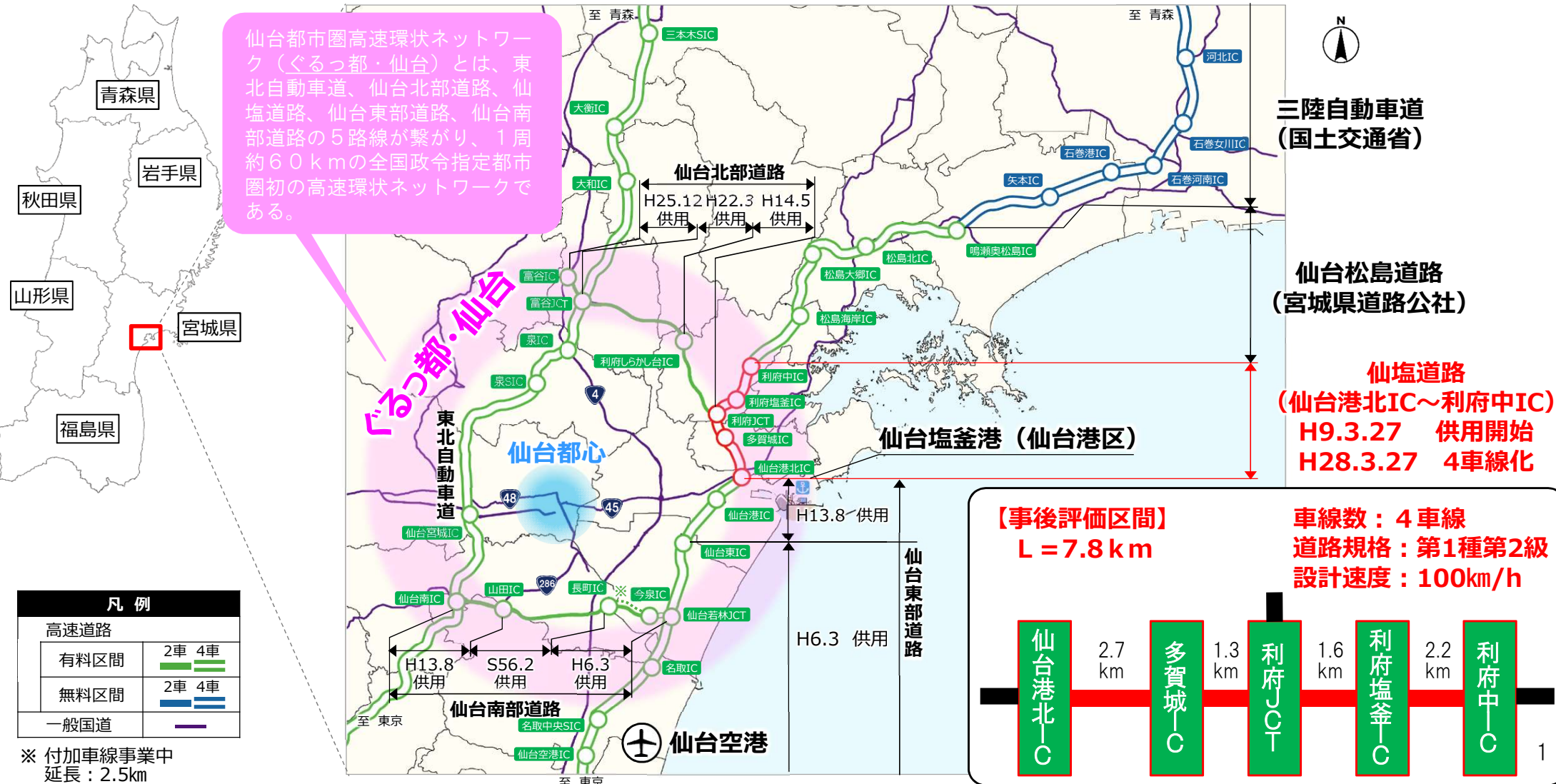
東日本高速道路(株)  
令和 2年12月15日

あなたに、ベスト・ウェイ。



# 1. 事業の概要(1) 位置図・路線概要

- 仙塩道路は、宮城、岩手、青森の各県の太平洋沿岸を結ぶ延長359kmの三陸自動車道の一部である延長7.8kmの自動車専用道路である。
- 仙台都市圏高速環状ネットワークの一部を形成するとともに、東北地方の物流拠点である仙台塩釜港への利便性向上、交通混雑の緩和、地域産業・観光業などの活性化に寄与することを目的とする道路である。



# 1. 事業の概要(2) 事業経緯・事業費

		暫定2車線	完成4車線
事業 経 緯	事業化(直轄)	昭和57年度	
	有料事業許可	平成7年4月28日	平成24年4月20日
	事業方式	一般国道事業と有料道路事業による事業方式	
	開 通	平成9年3月27日	平成28年3月27日
事業 費	計 画	838億円 ※ (うち有料事業許可額 98億円)	
	実 績	836億円 (うち有料道路事業費 96億円)	

※ 前回再評価(平成26年度)時点の事業費

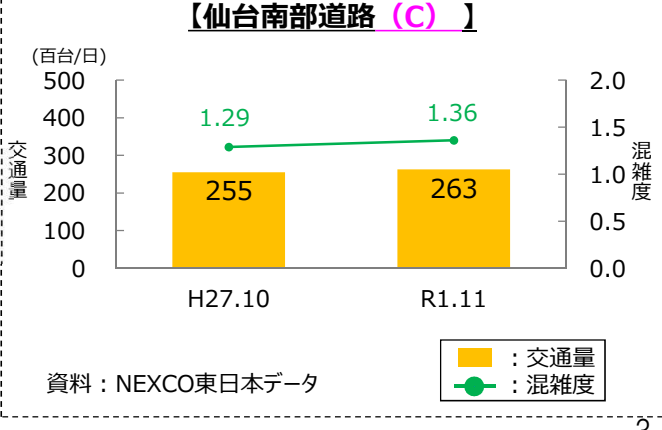
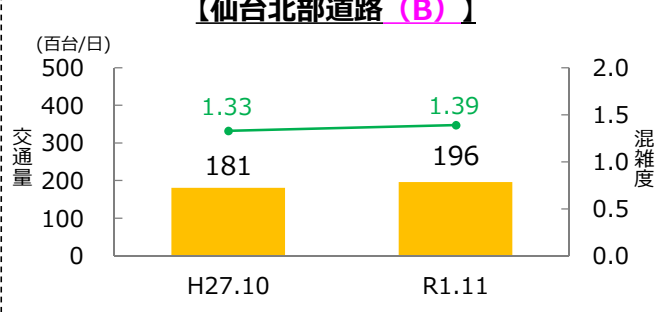
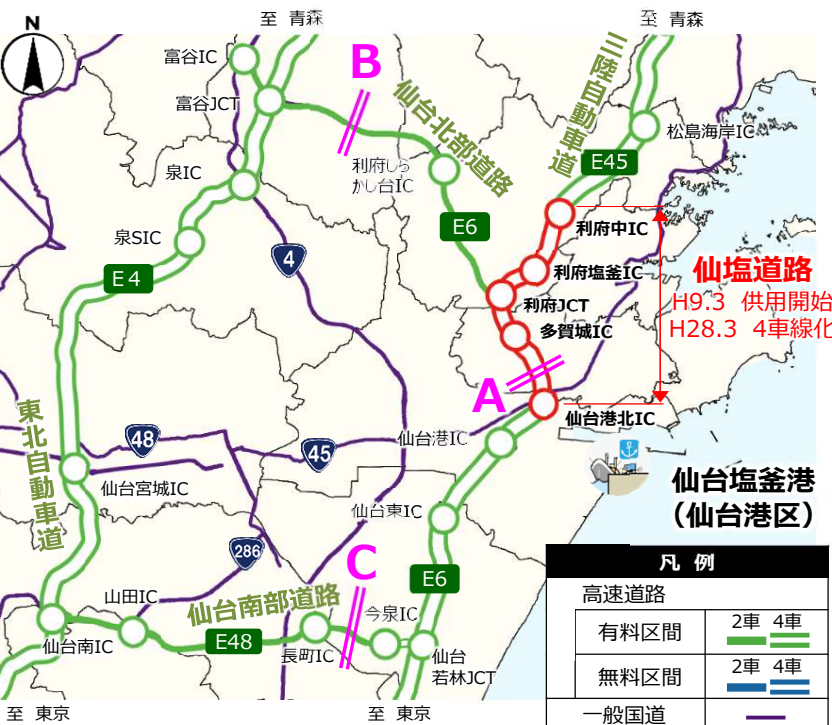
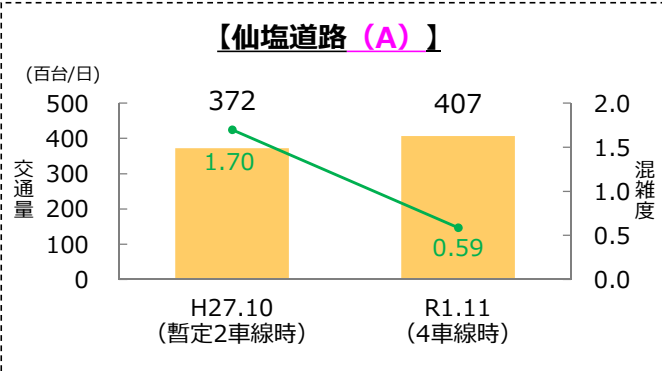
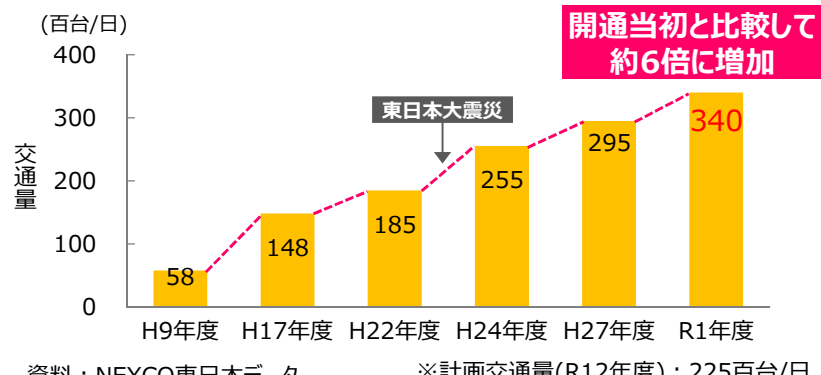
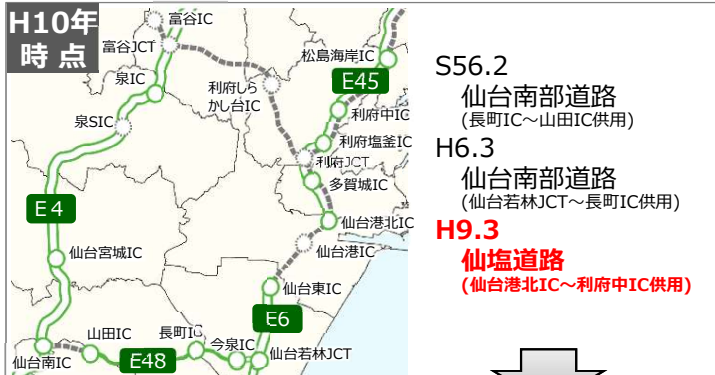
# 2. 事業の効果 交通量と混雑度

- 交通量は、ぐるっ都・仙台等のネットワークの整備とともに着実に増加し、開通当初と比較して約6倍に増加。
- 令和元年度の交通量は約34,000台/日で、多くのお客さまにご利用いただいている。

【ぐるっ都・仙台的整備変遷】

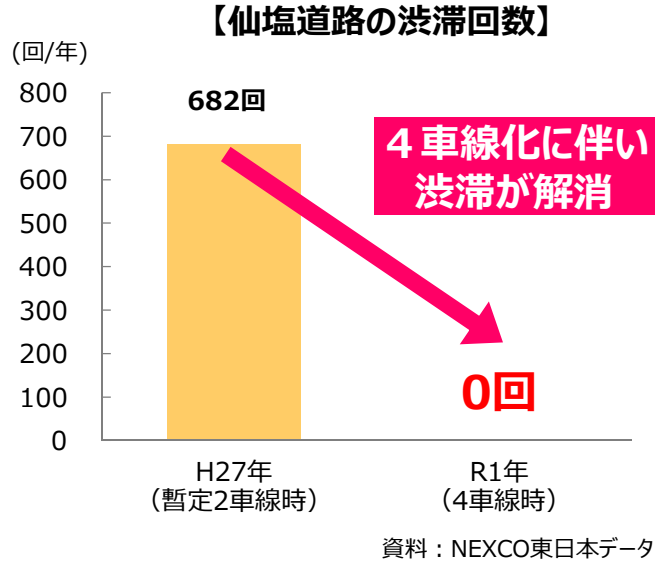
【仙塩道路（仙台港北IC～利府中IC）の交通量変遷】

【ぐるっ都・仙台的交通量と混雑度】



# 2. 事業の効果 渋滞の解消と事故の変化

- 仙塩道路の4車線化に伴い渋滞が解消。
- 仙塩道路の整備に伴う一般道からの交通転換により、並行する国道45号の死傷事故件数が約6割減少。

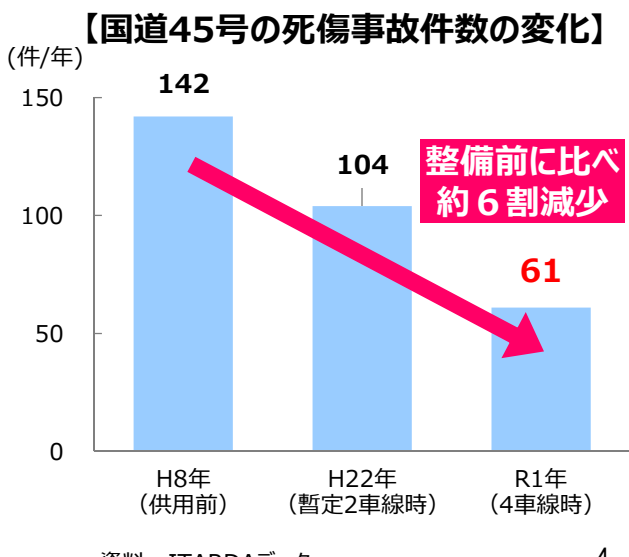
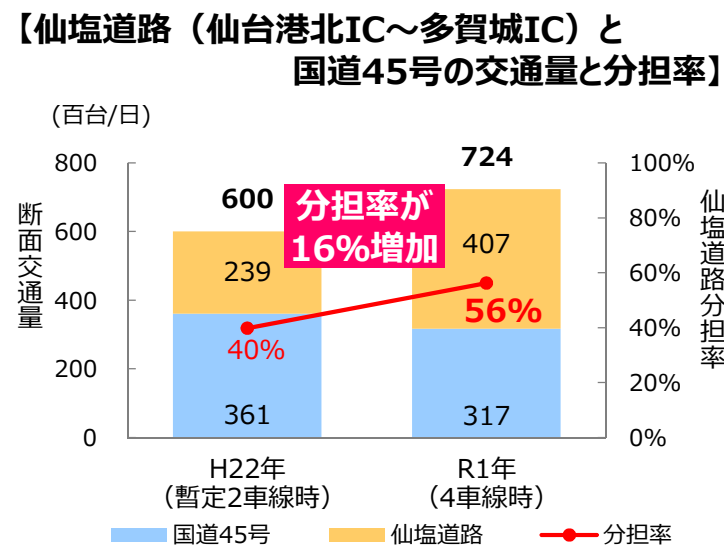


**【お客さまの声】**

- 仙塩道路が整備されたことで、自宅から職場へ通勤することが出来るようになり、**単身赴任の解消**へつながりました。

**【物流事業者の声】**

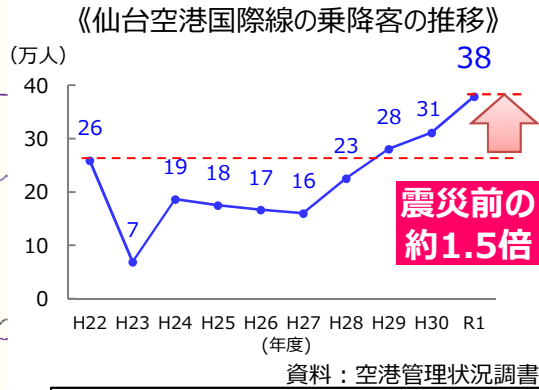
- 2車線時には特に朝夕の混雑渋滞を抜けるのに時間がかかりましたが、4車線化後は渋滞する事もなく**安定的な輸送が可能**となり、従業員・運転手の**労働環境改善**につながりました。



# 2. 事業の効果 観光の活性化

- 仙塩道路4車線化後、日本三景の松島、世界遺産の平泉と仙台空港を結ぶ直行バスが開設。インバウンドの増加にあわせ多言語アナウンスを導入するなど、東北の2大観光地の周遊ルートとしての成長を見込んでいる。
- 多賀城ICの開通に伴う利便性向上により、東北歴史博物館の入込客数が震災前の水準を大きく上回る。

【仙台空港～松島・平泉間直行バスの運行】



仙台空港—松島・平泉間直行バス

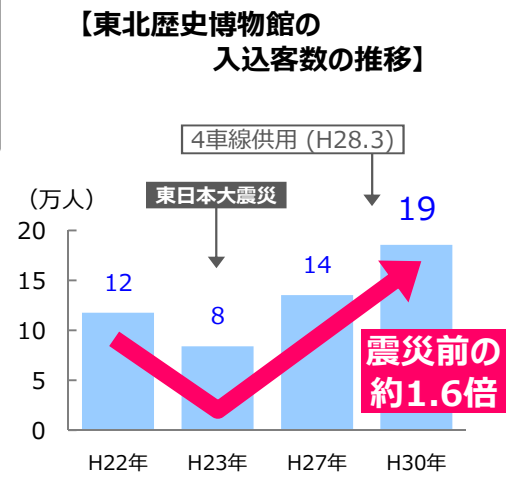
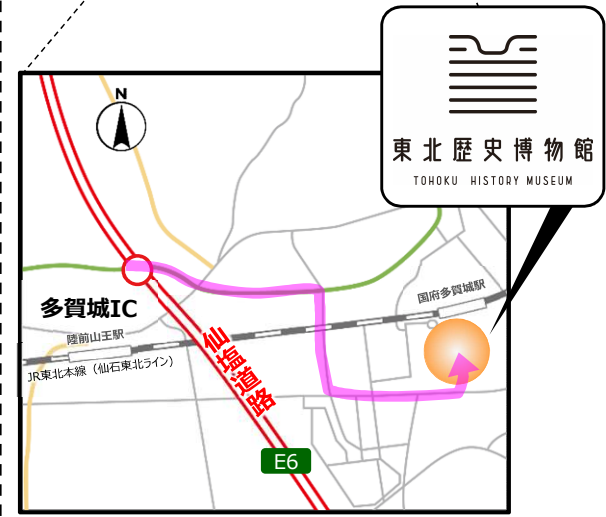
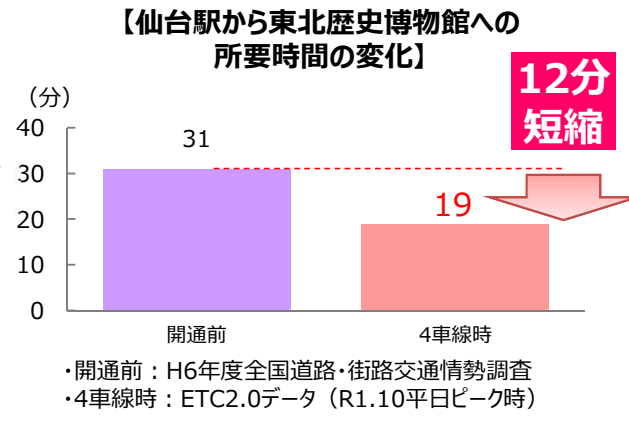
- ・H29.1.25運行開始
- ・仙台空港-松島海岸：5往復/日
- ・仙台空港-奥松島・平泉：2往復/日

【バス事業者の声】

- **利用者は増加傾向**にあり、特に台湾、中国、タイからの観光客の利用が多いです。路線バスは海外からの観光客には使いにくく、**ガイド付き高速バスは手軽に観光地を周遊できるため人気**があります。

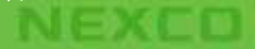
資料：R1ヒアリング調査結果

【東北歴史博物館の入込客数の増加】



※東北歴史博物館とは、旧石器時代から近現代まで東北地方全体を視野に入れた歴史系博物館です。

# 2. 事業の効果 アクセシ性向上による製造業への支援

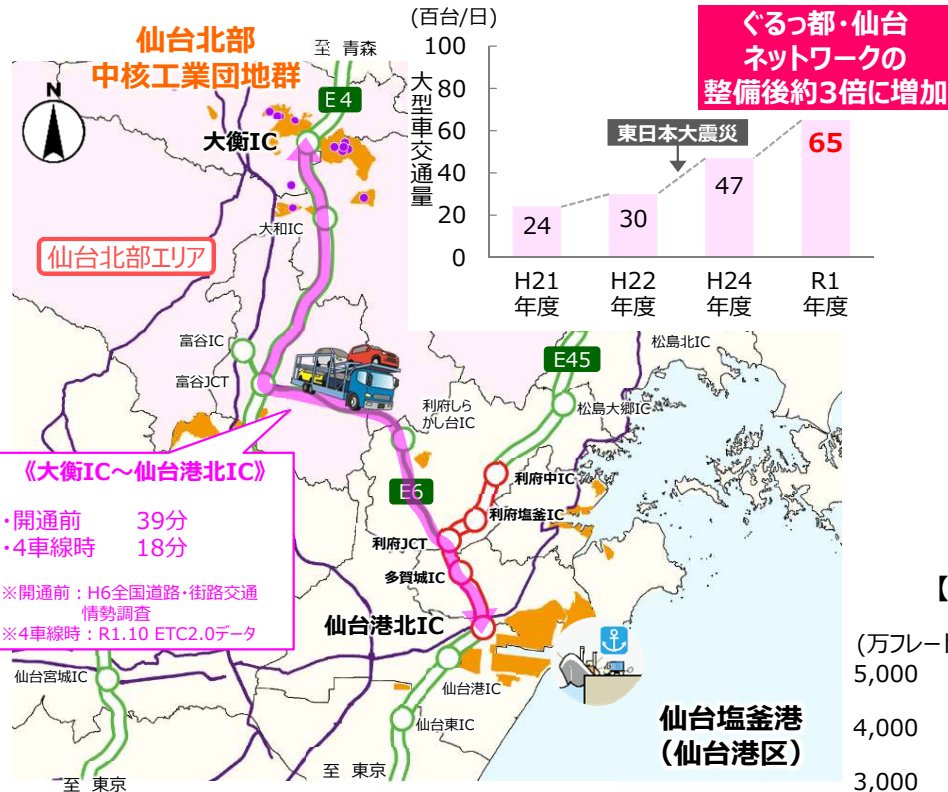


- 仙台北部中核工業団地群(宮城県内最大)で製造された完成自動車は、仙塩道路を利用して仙台塩釜港(仙台港区)へ運ばれており、主要な取扱品種となっている。
- 沿線地域の製造品出荷額は震災前と比較して約5倍に増加しており、沿線地域の物流効率化に寄与。

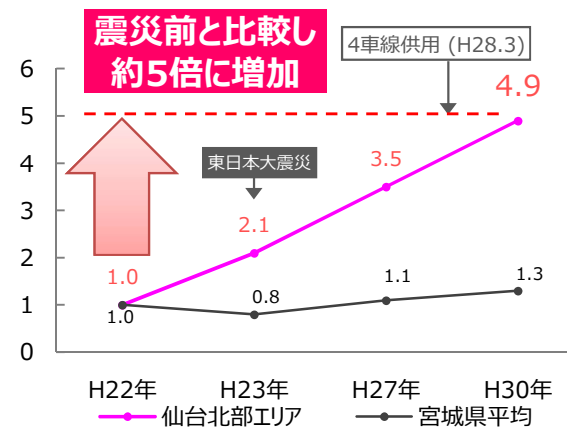
## 仙台塩釜港(仙台港区)へのアクセシ性向上

## 沿線地域の製造業が好調

【仙台港北IC～利府中ICの大型車交通量】



【仙台北部エリアの製造品出荷額の伸び率(H22年を1.0とした場合)】



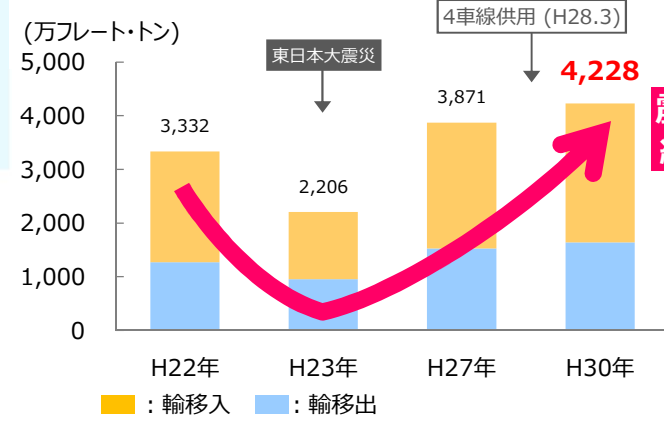
【港湾関係者の声】

- 仙塩道路の整備や4車線化により、仙台塩釜港を発着する貨物トラックの**アクセシ性の向上**や**所要時間短縮**など、利便性の向上を感じており、**仙台塩釜港のセールスポイントの1つ**としています。

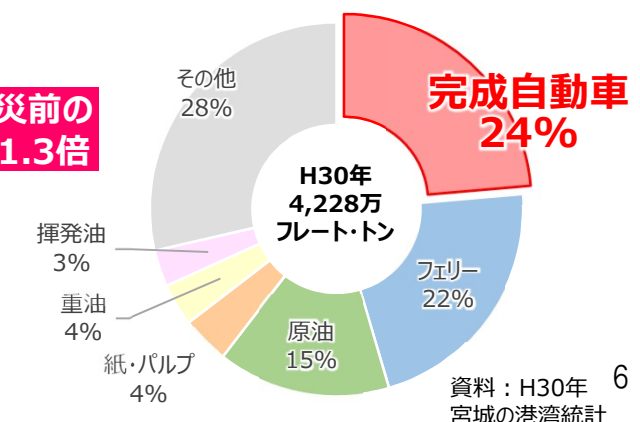


資料：R1ヒアリング調査結果

【仙台塩釜港(仙台港区)取扱貨物量の推移】



【仙台塩釜港(仙台港区)主要取扱貨物構成比】



■ : 工業団地  
● : 自動車関連企業

凡例		
高速道路		
有料区間	2車	4車
無料区間	2車	4車
一般国道		

# 2. 事業の効果 水産物のブランド価値向上に寄与

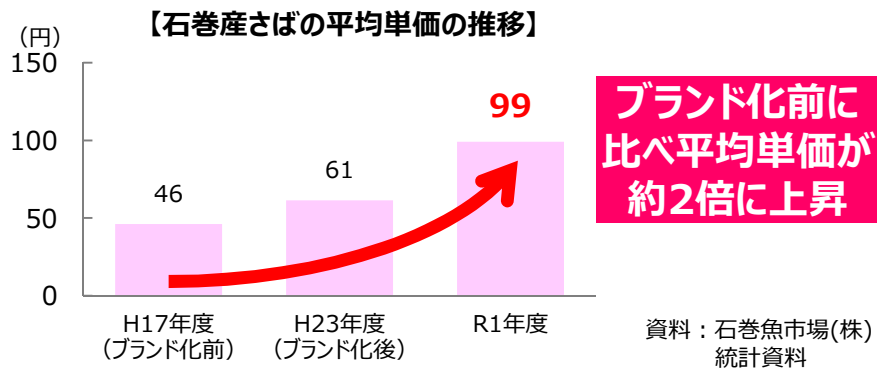
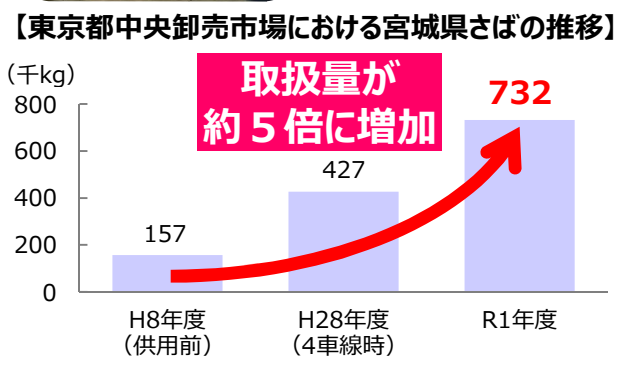
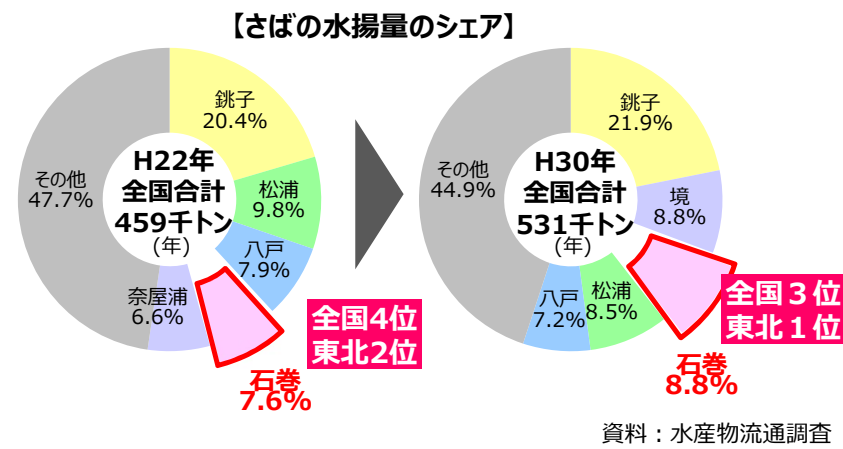
- 全国屈指の知名度を誇る「金華さば」は、宮城県の南三陸金華山周辺海域で定置網、一本釣り、まき網によって捕獲された高鮮度で脂のり抜群の大型マサバである。
- 仙塩道路などの道路ネットワーク整備等により、東京中央卸売市場における宮城県さばの取扱量が約5倍に拡大し、「金華さば」のブランド価値向上に寄与。



### 金華さば (平成22年から)

提供：宮城県観光課

「金華さば」は決まった旬の時期に漁獲され、大型で脂の乗ったマサバだけが与えられるブランド魚です。



首都圏へも出荷



### 【漁港関係者の声】

- 石巻港で朝水揚げされた「金華さば」は、6～7時の競り後に氷詰めされて**首都圏へも出荷**されています。
- 大型で脂乗りの良い1本ものの「金華さば」は東京市場でも引き合いが増えており、**三陸道が整備されたことにより鮮魚のまま出荷することが可能**となったことは、三陸道が整備されていなかったときには考えられません。

資料：R2ヒアリング調査結果



# 2. 事業の効果 都市間の移動を支える基幹公共交通を支援

- 仙塩道路供用後、石巻市と仙台市を約1時間で接続する高速バスが運行を開始。この高速バスは、「石巻市総合交通戦略」において広域都市間の移動を支える基幹公共交通軸として位置づけられている。
- 高速バスは、時間最大3便(通勤時間の6時台)で運行しており、都市間移動による生活圏の拡大に寄与。



**石巻—仙台高速バス**  
 H10.8運行開始  
 石巻-仙台：25往復/日(平日)  
 18往復/日(休日)

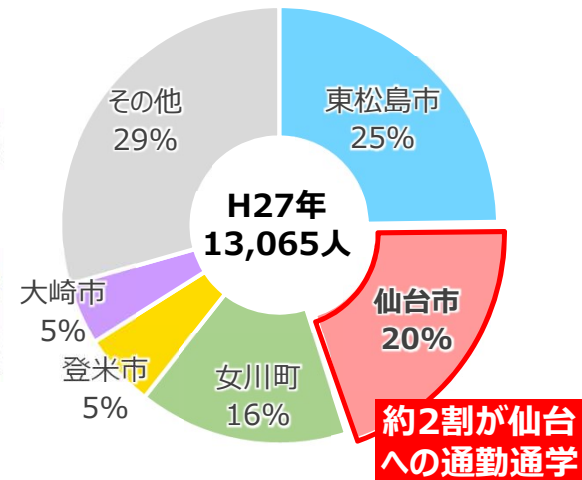


**仙塩道路**  
 H9.3 供用開始  
 H28.3 4車線化

**石巻市内の主要箇所に  
 停留するため利便性が高い**

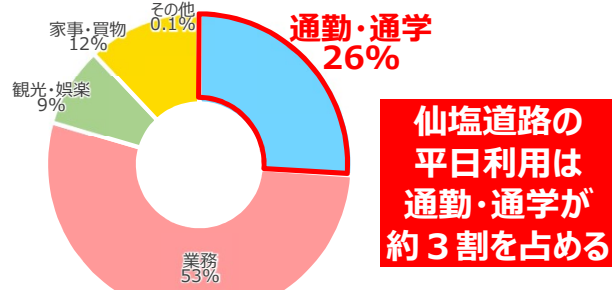


【石巻市の通勤・通学者数(自市外)】



資料：H27国勢調査

【利府塩釜IC～利府中ICの平日利用目的】



資料：H27年度全国道路・街路交通情勢調査 NEXCO東日本

【バス事業者の声】

● 通勤・通学・仕事等で**仙台市へ向かう多くの方に**ご利用されています。  
 仙塩道路の4車線化により、仙台から石巻へ向かう際には6分、石巻から仙台へ向かう際には3分の**ダイヤ短縮が可能**となりました。  
 冬季など**年間を通じてダイヤの遅れはほとんどなく、安定的な運行**ができるようになりました。



資料：R1ヒアリング調査結果

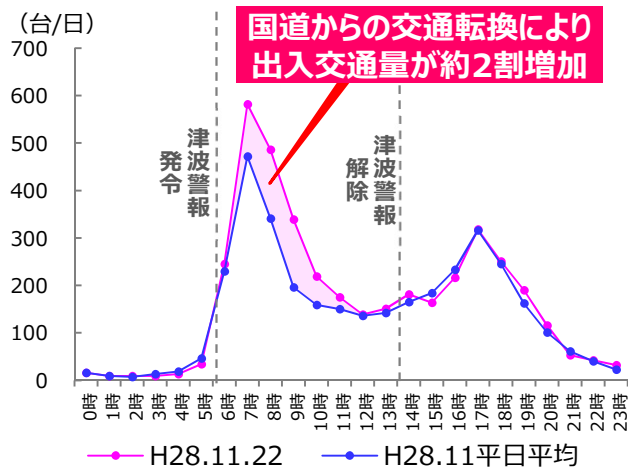
## 2. 事業の効果 リダンダンシーの確保

- 仙塩道路と並行する国道45号は津波浸水区域にも指定され、過去に津波や冠水などで通行止めが発生。
- 平成28年11月22日に発生した福島県沖地震による津波警報発令時には、国道45号から仙塩道路への交通転換により出入交通量が約2割増加し、迂回路としての防災機能を発揮。

【平成28年11月22日福島県沖地震による国道45号の通行止発生状況】



【通行止め発生時の多賀城IC出入交通量】



【お客さまの声】

● 仙塩道路が整備された一番の効果は災害時の物流輸送だと思います。国道45号が災害などで通行不可になった際に、仙塩道路があるので安心です。

【自治体の声】

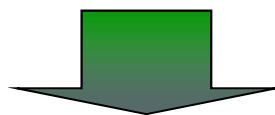
● 仙塩道路は災害時の**圏域防災拠点や避難所等への物資輸送**、市町村への災害対策本部から市町村への**情報連絡員の派遣の際に当該区間を利用**することが見込まれます。

## 2. 事業の効果 費用便益分析結果

■費用便益比(B/C)は3.7

◆総便益 (B) 基準年 (R2) に おける現在価値	走行時間短縮便益	6,824億円
	走行経費減少便益	519億円
	交通事故減少便益	76億円
	計	7,419億円

◆総費用 (C) 基準年 (R2) に おける現在価値	事業費	1,822億円
	維持管理費	158億円
	計	1,980億円



費用便益比 (B/C) : 3.7

経済的純現在価値 (B-C) : 5,439億円 経済的内部収益率※ (EIRR) : 8.2%

# 3. 事業による環境保全 大気環境(NO<sub>2</sub>・CO)

■最新のバックグラウンド濃度を考慮し予測した結果、NO<sub>2</sub>・COともに全地点で環境基準を下回ることを確認。

## ■予測結果



No	区間	予測地点名	NO <sub>2</sub> : 二酸化窒素 (単位:ppm)		
			環境基準	現況予測値 ※1	評価
1	仙台港北IC～多賀城IC	多賀城市八幡	1時間値の1日平均値が0.04～0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下	0.024	すべて環境基準を満足している
2	多賀城IC～利府JCT	多賀城市市川中谷地		0.024	
3	利府JCT～利府塩釜IC	利府町台城加瀬		0.024	
4	利府塩釜IC～利府中IC	利府町十三塚		0.024	

No	区間	予測地点名	CO : 一酸化炭素 (単位:ppm)		
			環境基準	現況予測値 ※1	評価
1	仙台港北IC～多賀城IC	多賀城市八幡	1時間値の1日平均値が10ppm以下	0.39	すべて環境基準を満足している
2	多賀城IC～利府JCT	多賀城市市川中谷地		0.39	
3	利府JCT～利府塩釜IC	利府町台城加瀬		0.40	
4	利府塩釜IC～利府中IC	利府町十三塚		0.40	

※現況予測に用いたバックグラウンド濃度は、路線近傍の常時観測局のうち平成28年度の年平均値が最も高い局を用いた。(NO<sub>2</sub>:利府局、CO:塩釜自排局)

# 3. 事業による環境保全 交通騒音

■騒音測定を実施し、全地点で環境基準値を下回ることを確認。

## ■測定結果※1(騒音)



No	区間	測定地点名	現況			評価
			時間帯※2	環境基準 (dB) LAeq	測定結果 (dB) LAeq	
1	仙台港北IC～多賀城IC	多賀城市八幡	昼間	70	59	すべて環境基準を満足している
			夜間	65	53	
2	多賀城IC～利府JCT	多賀城市市川中谷地	昼間	70	58	
			夜間	65	53	
3	利府JCT～利府塩釜IC	利府町台城加瀬	昼間	70	57	
			夜間	65	53	
4	利府塩釜IC～利府中IC	利府町十三塚	昼間	70	65	
			夜間	65	59	

※1:測定日  
令和元年6月12日(水)～13日(木)

※2:現在の環境基準における時間帯区分  
・昼間:6時～22時  
・夜間:22時～6時

凡例

高速道路	
有料区間	2車 4車
無料区間	2車 4車
一般国道	

# 4. 利用促進の取り組み

- 平成14年から開催してきた東北6県の観光・文化・食などを紹介する「ハイウェイフェスタとうほく」も今年は中止。
- 代わりにバーチャルのイベントページをホームページ上に開設し、デジタルによる疑似体験を経て実際に東北旅行に訪れることによる地域間交流の活性化など「デジタル×リアル」の相乗効果を目指す。

## ハイウェイフェスタとうほく



コロナの影響により  
リアルのイベントは中止  
↓  
Web上のバーチャル  
イベントページを開設

- 東北6県の観光部局などと連携
- 毎年9月に仙台市勾当台公園で2日間開催
- 約5万人が来場(令和元年実績)



## おうちフェスタとうほく(デジタルイベント)



デジタル×リアル  
相乗効果を図る

### ●コンセプト

家族で東北の魅力に「触れ・楽しめる場所」をつくりあげ、「行ったらもっと楽しい」「実際に見たい」を生み出す

### ●主なコンテンツ

- ・グルメ、観光スポット、伝統芸能
- ・高速道路クイズ
- ・Webスタンプラリー

### ●メインターゲット

ファミリー層（親と子が一緒に触れて楽しめる体験を提供）

### ●サイト開設

令和2年10月30日(ドラぷら内)

## 東北旅行(リアル)

デジタルの疑似体験を経て実際に東北旅行に訪れることにより地域間交流の活性化や高速道路の利活用促進を目指す



# 4. 利用促進の取組み 企画割引

- 東北地方の観光復興支援等を目的とした企画割引を実施。
- 積極的な広報活動等により申込件数も年々増加傾向であり、高速道路を通じた観光復興支援に取り組んでいる。

## 東北観光フリーパス

### 【実施概要】

- ▶ 東北6県が乗り放題

【年度】	【期間】	【価格】 6県2日間 普通車	【申込件数】	【前年度比】
平成28年度	5/20~7/25 10/7~12/19	7,500円	26,950件	—
平成29年度	4/7~4/27 5/9~8/9 8/22~12/25	7,500円	67,486件	+40,536件 (+150%)
平成30年度	4/13~4/26 5/8~8/9 8/21~12/25	7,500円	82,080件	+14,594件 (+21%)
令和元年度	4/5~4/25 5/8~8/8 8/20~12/25	7,500円	108,349件	+26,269件 (+32%)
令和2年度	4/3~4/8※ 7/22~8/6 8/18~12/24	7,600円	38,379件 (11/30時点)	—

※新型コロナウイルス感染拡大に伴い申込を一時停止



## Tohoku Expressway Pass

### 【実施概要】

- ▶ 外国人旅行者を対象とした、ETCレンタカー限定の東北6県乗り放題

【年度】	【期間】	【価格】 2~14日間	【申込件数】	【前年度比】
平成28年度	H28/4/1~ H29/3/31	4,000~12,000円	230件	—
平成29年度	H29/4/1~ H30/3/31	4,000~12,000円	997件	+767件 (+333%)
平成30年度	H30/4/1~ H31/3/31	4,000~12,000円	1,751件	+754件 (+75%)
令和元年度	H31/4/1~ R2/3/31	4,000~12,000円 [増税後] 4,100~12,200円	3,117件	+1,366件 (+78%)



## 5. 評価結果及び今後の対応方針(案)

### (1) 費用対効果の算定基礎となった要因

- 事業費は計画額と比べ工事完了に伴う精査により2億円減少した。
- 令和元年度の交通量は約34,000台/日で、多くのお客さまにご利用いただいている。

### (2) 事業効果の発現状況

- 当該区間は仙台都市圏高速環状ネットワークの一部として、観光の活性化、物流の効率化、基幹公共交通の支援、リダンダンシーの確保など、多様な整備効果を発現させたことを確認した。
- また、今後の三陸自動車道の延伸や常磐自動車道の4車線化、仙台都市圏の道路整備等に伴い、さらなる整備効果の発現が期待される。一方で、周辺の道路ネットワークにおいては、残る暫定2車線区間の解消、将来の高速サービス水準の維持などの課題も残るところ。

### (3) 対応方針(案)

- 観光の活性化、物流の効率化、基幹公共交通の支援、リダンダンシーの確保など、多様な整備効果が発現しており、当該区間における今後の事後評価は特段必要ないものとする。
- 道路整備によるネットワーク効果のさらなる発現など、引き続き周辺道路も含めた利用状況について注視し、地域と一体となった利用促進の取組みなどに努めていく。

### (4) 同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性

- 事後評価の結果、同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の特段の見直しの必要性はないと思われる。